

本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子

ほんじょう



12月

令和4年度 | 2月号
三田市立本庄小学校

「今月のほんじょう」はNo. 4 | まで掲載中 上のQRコードをご利用ください。

一年の締めくくりの時期になりました

校長 藤田 洋子

令和4年（2022年）も残すところあとひと月となりました。保護者のみなさまにとって今年はどういう年だったでしょうか。12月を迎えるにあたり、子どもたちに「今年を振り返る漢字一字を考えてみましょう」と投げかけました。まだ習っていない漢字でも「〇〇を表す漢字はどんな字？」って誰か知っている人に尋ねて書いてもいいですよと伝えていました。集まった漢字は以下の通りです。

「元、考、教、空、跳、本、菌、勝、楽、夏、目、味、学、月、城、新、消、超、思、色、笑、打、四、花、挑、命」の26文字です。自由参加でしたので、全員ではありません。また、同じ文字を選んだ子もいます。一人ひとりの漢字を見ながら、「こんなふう感じていたんだなあ」と生活の様子を思い起こしながらその漢字を選んだ理由を読みました。2学期終業式の際に、子どもたちにも紹介したいと思います。

自分の取り組んできた足跡を振り返るのは、次に進んでいくための第一歩です。1学期末と同様に保護者の皆様方にも「お子さんの様子に関するアンケート」をお世話になります。本庄小学校の教育活動がどのような状況であったのかしっかりと振り返り、次につなげたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。

トライやる・ウィークで中学生が躍動

11月1日から3日間、長坂中学校から2名の生徒さんがトライやる・ウィークで本庄小学校に来てくれました。1年生と2年生の教室で一緒に給食を食べたり、掃除をしたり…。他にも授業のサポートや6年生に対して「中学校と小学校との違い」について、スライドを作成して説明をしてくださいました。最終日には記念制作として縄跳び練習板を作ってくれました。これから、縄跳び練習をするときにたくさん活用してほしいと思います。6年生に話をするにあたり、二人は事前準備として各自でスライドを作成していました。午前中に発表練習をしたとき、簡単にアドバイスしました。そして臨んだ本番。発表の様子を見ていると、アドバイスした内容をスライドで追加修正して見事に発表してくれました。6年生も部活動のことや中学校の先生のことなど、いろいろな質問をして、とても有意義な時間を過ごすことができました。



人権参観・学級懇談会（全学年）

11月17日の人権学習の参観、懇談会には、多数ご参加いただきありがとうございました。1年生は「およげないりすさん」2年生は「ぞうくんのめがね」3・4年生は「橋」5年生は「木曾の小太郎」6年生は「渋染一揆」の各教材を用いて学習しました。人権学習参観では、人権教育の授業を公開することで、保護者のみなさまに本校における人権教育に対する理解を深めていただくこと、家庭・学校の連携を大切にしたい人権教育の推進を図り、部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていこうとする子どもたちの意識・家庭の意識を高めていくことをねらいにして毎年取り組んでいます。

ご覧いただいた授業をもとにして、それぞれのご家庭でも思ったことや感じたことを話題にしていだけ

ると、学習もより深まるのではないのでしょうか。

プールのフェンスには「差別ない住みよい地域に本庄を」とあります。日々の生活で「おかしいことをおかしいと言える子」に、「自分の思いや考えをしっかりと伝えることができる子」に、「周りの人の思いをきちんと受け止められる子」に、そんな願いをもってこれからも取り組みたいと思います。

図書まつり（全学年）

図書委員会の企画で11月21日～25日までの4日間、業間休みに図書まつりを開催しました。カードゲームを計画して皆に楽しんでもらうと同時に、読書活動をより一層盛んにするために取り組みました。本校では毎月23日を「本庄っ子家庭読書の日」と位置づけ、その日や前後の日に普段の宿題を減らして読書をしています。全国学力学習状況調査の結果において読書離れの状況は顕著です。また「聞くと理解できるけれども、自力で文章を読み切ることができない」という傾向にもあります。授業でも、わかりやすくするために挿絵や動画を用いることがよくあります。しかし、映像に頼りすぎると、事象と言葉とのつながりが希薄になりがちです。言葉を大切に、その表現から内容をイメージして理解することは、すべての学習につながる大切な力です。また、何か一冊、お気に入りの本を持てると、そこから新しい世界観が広がっていくと思います。「本庄っ子家庭読書の日」をきっかけに、ぜひご家庭でも読書を楽しんでください。



校外学習（1・2年生）

（活動の様子は「今月のほんじょう」でもご覧いただけます）

11月22日に須磨海浜水族園、舞子海上プロムナードに行きました。穏やかな天候に恵まれて、10人みんなで楽しむことができました。事前に券売機の写真をみてどのようにして切符を買うのか学習し、いよいよ本番。タッチパネルに恐る恐る触れながら、一人ひとり自分の切符を買いました。お財布からお金を出すとき、うっかりコロコロと転がしてしまうことも…。それでも無事に切符を買い、電車に乗ることができました。



水族館に到着し、まず迎えてくれたのは大水槽を悠々と泳ぐサメやエイでした。目の前を泳いでいく姿に圧倒されながら、時間のたつのも忘れて見続けました。サンゴ礁の生き物やグロテスクなウツボや目が回りそうな勢いで泳ぐイワシ、等々。たくさんiPadで写真を撮りました。図工の時間に撮った写真を利用して作品を作る予定です。お昼ご飯は自分で注文してお金を払いました。店員さんとのやり取りも上手にできました。舞子海上プロムナードでは明石海峡大橋の真下の海を見ることがができます。その高さを体感したり、海沿いの神戸の街並みを見学したりと、とても楽しい一日を過ごすことができました。

本庄っ子マラソンタイム（全学年）

11月の毎週水曜日の業間休みの時間を利用して、マラソンに取り組みました。トラックは1周200メートル。音楽をかけて7分間走りました。普段の子どもたちの生活の様子を見ていると、外で走り回って遊ぶ様子がほとんどなく、全身的な体力の低下や体幹の保持に必要な筋力の低下が危惧される状況にあります。本庄小学校の学校教育目標は「本気で学ぶ、丈夫で、心豊かな本庄っ子の育成」です。「丈夫で」に直結する取り組みとして取り入れました。スタート直後、子どもたちはスピードに乗って走り出します。でも、しばらくするとあちこちで歩き出す姿が見られました。一緒に走りながら、「ゆっくりでもいいから続けて走ろうね」と声をかけていきました。一度に7周以上走った児童もいました。秋晴れの心地よい空気を感じながら走るのはとても気持ちよかったです。これからも継続したいと思います。



（トライやるの中学生も一緒に走りました）